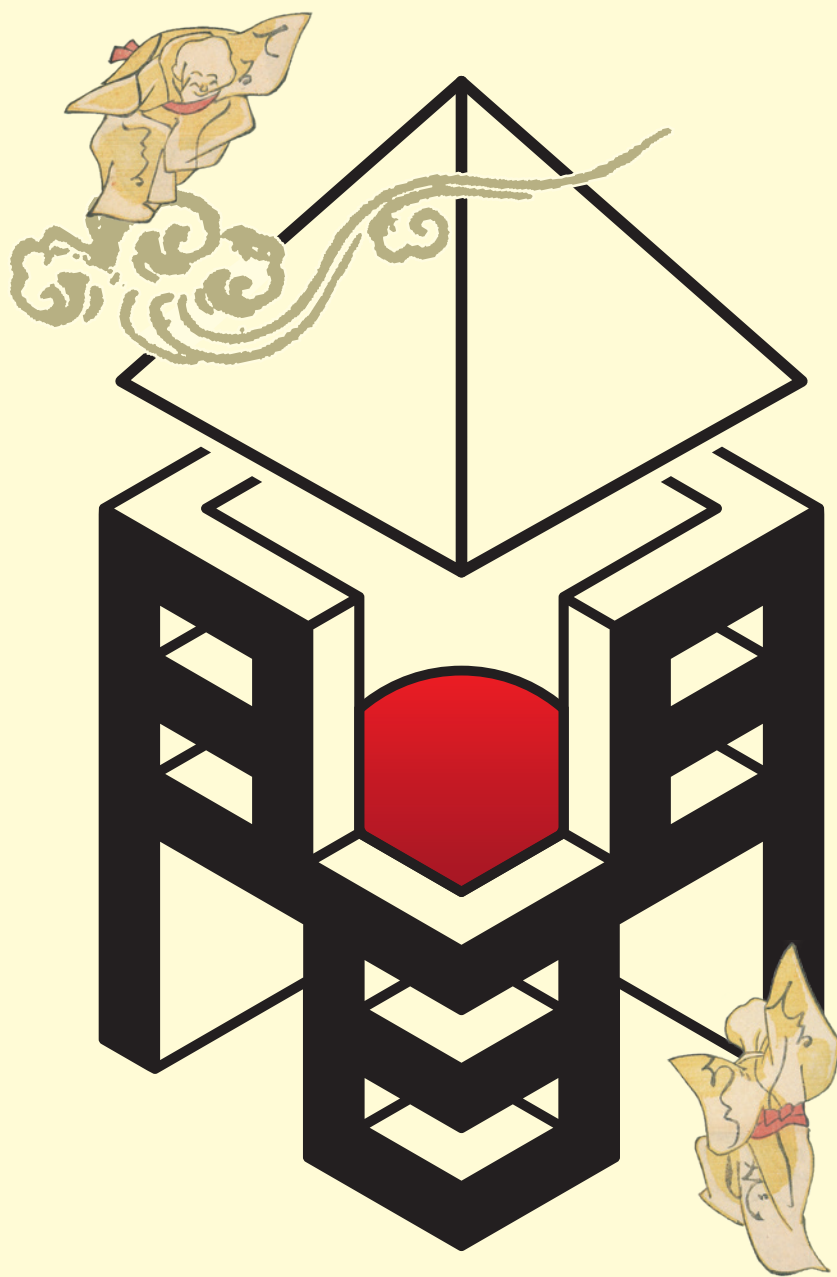


方法日本を極める三講



M A · A N

2022.7 — 2022.9

庵主 田中優子
座長 松岡正剛

新しい
JAPAN
フィルター
の
起動へ

日本流、日本数奇、面影日本、日本問答、日本という方法、日本文化の核心。松岡正剛の「方法日本」を解読、継承、実践し、編集工学と接続して新たなJAPANウエア、JAPANネットワークを構想する。庵主をつとめるのは、江戸文化研究家であり、松岡の盟友でもある田中優子。いきとつろい、きわとまれびと、型とむすび、かぶきと見立て、苗代とわびさび。日本を「対」に仕立て、歴史を展き、文化と遊び、生命に学ぶ。2022年夏、間庵開座となります。

日本の方法を引き出す



庵主
江戸文化研究者
田中優子



今こそ「日本」を、もう一度考えてみませんか？ 私は、江戸を通して日本を分かってほしいとしてきました。その歴史や文化の手触りを、伝えようとしてきました。しかしなかなか、核心にたどり着くことができませんでした。今まで語られてきたことを「知る」だけではだめなのです。松岡正剛の「方法日本」に出会い、日本という方法を掴むこと、広大な時空を通して、感性も総動員し、そこに現れている編集方法を自らの方法にすること、そして言葉にすること。それが必要だと思ひ至りました。編集工芸に深く分け入り、実装し、自らの思想の中心に据えることよつてのみ、見えて来る日本があるのです。皆さんと一緒に、「方法日本」をいくつも発見していきたいと思ひます。



開催概要



期間

2022年7月 - 2022年9月

問庵では松岡正剛の「方法日本」解読のための糸口となる「ジャパンコンセプト」が各期テーマとして設けられます。コンセプト解読の先頭には田中優子庵主が立ち、参加者とともに、全3回のイベントを通して「方法日本」の継承と新たな実践を目指します。

時間

13:00 - 17:00

※開催時間は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

講1

歴史を展く 2022年7月24日(日)

問庵に用意された方法日本の意外な対コンセプト。「情報の歴史21」を傍らに、その起源を辿り、分岐、変異を紐解く。

Historical Japan

講2

文化と遊ぶ 2022年8月20日(土)

「日本という方法」は組織、行事、祭礼を通して文化となった。「アートジャパネスク」のビジュアルと共に現代の可能性を探る。

Cultural Japan

講3

生命に学ぶ 2022年9月23日(金祝)

松岡正剛の方法日本と編集工芸。庵主と座長の対話をベースに型化・装置化へ。問庵ジャパンウェアが新たな日本を提案する。

Engineering Japan

募集要項

一般視聴

ONLINE

10,000円/講(税別)

オンライン視聴のみになります

問庵の参加者を「問衆」と呼びますが、問衆とは別に方法日本を極める問庵の三講の一般視聴者を募集します。各講オンラインで「方法日本」の解読、継承、実践の現場をご覧いただけます。

リアルな視聴体験

複数台のカメラで撮影し、スイッチングにより画面を切り替えることで、現地にいるかのような視聴体験をお楽しみいただけます。

申込者だけの限定映像

一般視聴にお申し込みいただいた皆さまに、講義を振り返るアーカイブ映像(期間限定)をご提供いたします。

ご注意ください

一般視聴の方は、リアルセッションを動画配信サービスでご視聴いただけます。会場への呼びかけはできませんのでご容赦ください。

| 一般視聴お申し込み |



<https://shop.ecl.co.jp/products/detail/402>

お申し込みをご検討の方、詳細なご案内、一般視聴については下記からお問合せください。

お問い合わせ | maan@ecl.co.jp / 03-5301-2213

